

発刊にあたって

昨今の県内の経済情勢を見ると、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、景気の急速な悪化が続いていましたが、5月14日の県内を含む39県を皮切りに、5月25日までにすべての都道府県の緊急事態宣言が解除され、経済活動の再開に向けての動きが始まっています。しかし、今回のコロナ禍を契機に、働き方・生活様式等の様々な見直しを迫られているほか、新型コロナウイルス感染拡大の第二波のリスクもくすぶるなど、国内外の経済や金融資本市場の動向については流動的な要素が多く、注意深く見守っていく必要があります。

ところで、「徳島県の経済と産業(2020年版)」は、自然環境や社会環境、経済・産業の構造や特色、県民の暮らしなども含めて、最新のデータを織り込み、近年の徳島県の実情と変化を取りまとめたものです。徳島県の現状や特徴・特色を概観し、今後の地域や企業経営を展望するうえで参考書として、活用していただければ幸いです。

なお、今回の表紙は、ひとりの女性がリモート画面の人たちとつながり、その画面の中に虹(終息の願い)が表れているデザインです。コロナ禍で在宅勤務が推奨されるなか、リモートでのミーティングの実施など、新たなコミュニケーションが生まれています。経済的には非常に厳しい情勢ですが、やさしさ=強い人間のつながりで、この危機を乗り越えられればとの気持ちでデザインしました。

最後に、この冊子の作成にあたり、何かとご協力を賜りました関係機関の皆様に、心から厚くお礼申し上げます。

2020年 夏

公益財団法人 徳島経済研究所

理事長 西宮 映二